

2020年(令和2年)度 第2期 活動報告書

特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト



2019年 台風15号・台風19号 千葉県鴨川市での活動

2019年9月9日に千葉県南房総地区に大きな被害をもたらした台風15号。直後の10月に台風19号が再び南房総地区を通過し、二度の大きな台風による家屋の被害は千葉県内で一万件を越えました。レスキューアシストは2019年9月の台風15号発災直後から千葉県鴨川市・鴨川市社会福祉協議会と連携を取り、鴨川市内に拠点をお借りして長期に渡る活動を行ってまいりました。

2020年に入り、新型コロナウイルスは活動にも大きな影響を及ぼしました。緊急事態宣言中の活動の自粛や解除後もウィルス感染防止ガイドラインにのっとり活動を行なうなど、ボランティアの募集も難しくなり思うように活動ができない状態が続きました。

その中でも、地元で継続的に活動を行なうチーム作りや、コロナ禍での災害支援を提案する「鴨川シンポジウム」の企画など、行政や企業、そして何度も活動に参加して下さる地元ボランティアの方々との多くの連携が生まれました。残念ながらシンポジウムは幻に終わりましたが、地元ボランティア団体「災害救援チーム・アパッチ」の設立にかかわることができました。後を任せる団体ができただことにより、2020年9月末をもって千葉県鴨川市から撤退しましたが、現在も技術サポートに関わるなど長期に渡る活動を継続しています。



鴨川市との災害協定締結



災害救援チーム・アパッチのメンバーと

利用助成金・寄付金（順不同）

- ・中央共同募金会
- ・日本財団
- ・震災がつなぐ全国ネットワーク
- ・真如苑
- ・親切会 関西

連携

- ・千葉県鴨川市
- ・千葉県鴨川市社会福祉協議会
- ・千葉県南部災害支援センター
- ・災害救援チーム・アパッチ
- ・プロボノ消防志
- ・ピースボート災害支援センター

2020年7月 豪雨災害 熊本県八代市・人吉市での活動

2020年7月3日から続いた大雨により、西日本や九州では甚大な被害が発生しました。熊本県球磨川流域もそのひとつです。

千葉県鴨川市で共に活動をしていた支部団体「レスキューアシスト熊本」の代表とともに発災直後の九州へ移動。行政や社会福祉協議会を訪問し、どのような活動を行なうのが良いか模索しました。

今回の災害支援で最も大変だった点は、新型コロナウイルス感染防止策として他県の団体やボランティアを受け入れないという被災地の方針でした。そこでレスキューアシストの活動として、レスキューアシスト熊本のサポートと後方支援を中心に行いました。地元議員とつながったことで拠点をお借りすることができ、Amazonほしいものリストの作成サポートで必要な機材の調達なども行いました。

熊本県八代市坂本地区と熊本県人吉市の一部で活動を行ない、毎月現地を訪れることで、いつでも支援に動けるようにと情報を共有することに努めていましたが、コロナ禍で他県のボランティアが活動することは非常に難しい状況が続きました。2020年12月末にお借りしていた拠点を撤収し、現在はレスキューアシスト熊本が八代市や人吉市と連携を取りながら活動を継続しています。



坂本地区へ向かう球磨川を渡る橋

土砂が流れ込んだ被災家屋の様子

利用助成金・寄付金
・日本財団

連携

- ・八代市
- ・八代市社会福祉協議会
- ・レスキューアシスト熊本
- ・コミサポ広島

2021年2月 福島県沖地震 福島県新地町での活動

2021年2月、東日本大震災の余震として発災した「福島県沖地震」は、宮城県蔵王町・福島県相馬市・国見町・新地町で震度6強を観測した大きな地震となりました。東日本大震災から10年を迎えようという時期でもあり、家屋の被害もさることながら被災者の心的ダメージも心配される地震となりました。

レスキューアシストは発災翌日から先遣活動を開始し、連携団体からの行政や社会福祉協議会への働きかけにより、福島県新地町で活動を行なうこととなりました。新地町は今回の地震で被害件数が多かった地域のひとつで、1379件の住宅被害があり、そのほとんどが屋根の被害でした。

新型コロナウイルス対策ガイドラインのもと、技術系の連携団体に限った、一般ボランティアの募集をしない活動となりました。また、千葉県での活動で繋がった企業との連携も増え、屋根の応急処置も様々な資材や方法を利用することができました。しかし、山と海に挟まれ、かなり強い風が吹く地域のため、せっかく張ったシートが飛ばされるなど失敗も多くありましたが、経験を重ねることにより丈夫な処置方法を考えることができたと思います。

新地町では発災2ヶ月の4月13日に拠点を撤退しましたが、一年をめどに張替えなどの継続活動を行なっていく予定にしています。



瓦の崩れから地震の大きさが想像される



多くの技術系連携団体と力を合わせた活動

利用助成金・寄付金（順不同）

- ・中央共同募金会
- ・日本財団
- ・真如苑
- ・大阪ガス 株式会社

連携（順不同）

- ・新地町
- ・新地町社会福祉協議会
- ・DRT JAPAN
- ・プロボノ消防志
- ・OPEN JAPAN
- ・DEF TOKYO
- ・ピースボート災害支援センター

講習会・講演会活動

2020年度も多くの講習会や講演会の場で、皆様にお伝えする活動ができました。訓練事業として、大阪北部地震以降に各地で継続して行っている「ブルーシート張り講習会」や、千葉県の被災地で継続的な支援者を育成するための「OJT講習会」に講師として参加させていただきました。また、水害対策のための実践講習会にも講師として参加することができました。

講演会としては、一般の方向けの災害のお話から防災士養成のための全般的な講習会、社会福祉協議会主催の職員の方や災害ボランティアの方へのお話などもさせていただきます。そして、毎年行っている徳島県の高校へもうかがうことができました。

全てにおいて、コロナ感染対策を行ったうえでの開催であり、オンラインを利用した開催も多くありました。主催者様の準備手配等、感謝いたします。

今年度は当団体主催の講演会なども開催できるように計画を立てています。皆様に防災や減災に繋がる行動をお伝えできるようにと考えています。



講習会・講演会開催内容

種別	内容	回数	参加人数
訓練事業	OJT講習会	15	60
訓練事業	ブルーシート講習会	21	400
訓練事業	水害対策講習会	1	30
開催事業	防災全般講演会	4	150
開催事業	講演会（パネリスト）	1	zoom
開催事業	水害講演会	1	30

※ 参加人数は概算

訓練事業・・・安全に災害ボランティア活動を行なうための講習会

開催事業・・・災害救援などを題材とした講演会及び講習会

開催地

- ・大阪府
- ・大分県
- ・東京都
- ・奈良県
- ・鹿児島県
- ・千葉県
- ・徳島県
- ・福島県



講習会・講演会を開催しませんか？

あらゆる内容で対応いたします。是非ご相談ください。

お問合せは事務局まで。

メールアドレス：rescueassist.japan@gmail.com

2020年度 事業別損益の状況

(2020年4月1日 ~ 2021年3月31日 まで)

(単位：円)

科目		事業1 支援事業	事業2 訓練事業	事業3 開催事業	事業部門計	管理部門	合計
I 収益	会費					102,000	102,000
	寄付・助成金	5,473,766			5,473,766		5,473,766
	事業収益ほか		2,818,049	368,387	3,186,436	3,816,577	7,003,013
経常収益計		5,473,766	2,818,049	368,387	8,660,202	3,918,577	12,578,779
II 費用	人件費	3,854,867	15,489	0	3,870,356	200,000	4,070,356
	拠点運営費	313,740	0	0	313,740	825,838	1,139,578
	旅費交通費	1,453,635	226,781	51,258	1,731,674	104,190	1,835,864
	消耗品費	1,335,588	3	330	1,335,921	107,805	1,443,726
	保険料	377,540			377,540	8,492	386,032
	委託料	2,622,000	948,000		3,570,000		3,570,000
	その他	285,386	0	0	285,386	261,138	546,524
経常費用計		10,242,756	1,190,273	51,588	11,484,617	1,507,463	12,992,080
当期経常増減額		-4,768,990	1,627,776	316,799	-2,824,415	2,411,114	-413,301

事業1：国内の自然災害等に伴う緊急時の支援事業
 事業2：安全に災害ボランティア活動を行なう上での訓練事業
 事業3：災害救援などを題材とした講演会及び講習会の開催事業

2020年度の事業収支について、以上のようにご報告いたします。

助成金の活用や皆様からの寄付金や講習会などの謝金収益を利用して、団体の運営を行うことができていることがわかっていただけたかと思えます。

災害はないに越したことはありませんが、近年の災害の多発化・甚大化は否めません。今後もプロボノ系技術団体として活動を継続していくためには、多くの資金が必要になると考えます。

皆様からお預かりした多くのお気持ちを、無駄にしないように大切に利用させていただきます。Facebookページやホームページに投稿する日々の活動報告をご覧いただき、どのように使われているのか、どのように繋がっていくのかをご確認いただければ幸いです。

「大阪商工信金社会貢献賞」 の受賞

2020年度の社会貢献賞に選んでいただき、助成金を頂戴しました。こちらの助成金は団体運営のための資金として活用させていただきます。ありがとうございました。



事務局よりお知らせ

～住所変更のお願い～

2020年7月から新事務所に移転しました。

〒567-0033
大阪府茨木市松ヶ本町3-16 バーデنزクラブビル526
特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト 宛

～会員募集～

レスキューアシストでは団体を支えてくださる「正会員」及び「賛助会員」を募集しています。

- ・正会員 … 総会の表決権を有し、団体の事業に賛同して入会して
くださる個人及び団体。 会費 5,000円（年額）
- ・賛助会員… 総会の表決権はなく、団体の事業を賛助するために入会
してくださる個人及び団体。 会費 3,000円（年額）

なお途中入会の場合でも、年度初めの4月1日で更新となります。

申込み、問い合わせは事務局まで

メール：rescueassist.japan@gmail.com

電話：090-3972-9092

～クレジットカード決済で寄付ができるようになりました～

こちらのQRコードから決済画面に進んでいただけます。→→→→→



今までのゆうちょ銀行からのお振込みもご利用いただけます。

銀行名：ゆうちょ銀行 四〇八支店

口座番号：（普通）3264593

口座名：特定非営利活動法人災害救援レスキューアシスト

その他、書き損じはがきの寄付や「チャリティーショップKANAU」様へ
物品を送っていただくことによるご支援もできます。

詳しくはホームページ(<https://rescue-assist.net>)をご覧ください。

毎年様々な場所で自然災害が起き、またコロナ
と言うもう一つの災害で支援の手が今まで以上
に難しくなって来ています。その中で、被災に
遭われた方々の希望を生む為にレスキューアシ
ストを応援して下さる皆様の力を代わりに行
動に変えて、これからも精一杯被災地に必要な
支援をするように努力いたします。今後も災害
救援レスキューアシストの応援をよろしくお願
いします。



特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト

代表理事 中島武志



発行：特定非営利活動法人
災害救援レスキューアシスト
所在地：大阪府茨木市松ヶ本町3-16-526
連絡先：090-3972-9092（事務局）
メール：rescueassist.japan@gmail.com
発行日：2021年8月

※ 無断転載禁止